

2027年に向けどう生きる？

未来の自分と地域を考える会

飯田西中

飯田市の飯田西中学校で14日、「未来の自分と地域を考える会」があった。2027年に20歳の誕生日を迎える3年生たちが、飯田の成人式に対する理解を深め、5年後の自分に宛てた手紙の書き方について説明を受けた。卒業を控えた3年生に自分の将来、大人になる自分をイメージしてもらい、今から卒業式に備えてもらおうと、羽場・丸山両公民館が毎年開いている授業。今年は県の「まん延防止等重点措置」を踏まえてリモート開催した。

西中学校区の成人式実行委員を務めた平沢さくらさんと上沼彩果さんはビデオメッセージで後輩たちに「残り少ない中学生生活を悔いのないよう過ごして。皆さんの今後を応援しています」などエールを送った。4月に幼い頃からの夢だった保育士になる平沢さんは「先生の指導のかいあって、幼い頃からの夢がかなう。皆さんも後悔のない道を歩んで、20歳の自分に宛てる手紙について上沼さんは「誰かにもらうのとは違う特別感があり、読んだらすごく元気になった」と話した。



女子生徒は「先輩の話に勇気ももらった。私も成人になった時、後輩を勇気付けられるようなメッセージを贈れるよう、精一杯頑張りたい」と話していた。

20歳の先輩から話を聞く生徒たち

手紙は2027年の成人式まで両館が預かる。公民館は、生徒たちが卒業してつながりが切れる前に「成人式の連絡員」も募った。